

Illustration ／ 稲越昭太郎

飛騨の家具®フェスティバル

心の豊かさ ～こころ豊かに暮らす～

2024 10.19 sat —— 10.23 wed　AM9:30 ～ PM5:00（最終日PM4:00）

会場：飛騨・世界生活文化センター ／ 各社ショールーム（高山市内・飛騨市内）

○ 飛騨・高山新作家具展示　○ トークイベント　○ 飛騨つくり手会　○ 飛騨の家具®勉強会　○ 2024匠・DNA展
○ 飛騨高山つくり手の会2024　○ 飛騨の工房家具新作展　○ Gifu Select　○ ミュージアム飛騨（無料公開）

お問合せ｜協同組合飛騨木工連合会 飛騨の家具®フェスティバル事務局
TEL 0577-32-2100　FAX 0577-35-2251　E-mail info@hidanokagu.jp
主催：飛騨の家具®フェスティバル実行委員会、協同組合飛騨木工連合会　共催：飛騨・世界生活文化センター 指定管理者 飛騨コンソーシアム
協力：朝日大学

「清流の国ぎふ」文化祭2024

心の豊かさ

～ こころ豊かに暮らす ～

平素は、格別なるご支援ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
本年の2024飛騨の家具®フェスティバルのテーマは「心の豊かさ ～こころ豊かに暮らす～」（飛騨デザイン憲章 第3条）です。
飛騨デザインは、世界の人々のこころの豊かさと、精神のやすらぎを与えるモノづくりをします。会場内ではこの豊かな感性と確かな技が、使う人の心に安らぎや癒しを与える、そんな新作家具を展示致します。
そのため、メイン展示ブースではテーマに沿った設えをし、ご来場の皆さまに楽しんでいただける空間を演出しております。更に、ゆかりのゲストを迎えて様々なトークショーも開催します。また、昨年好評であった「飛騨つくり手市」は期間中開催し、飛騨で活躍する作家さんにクラフト等の展示販売をしていただきます。
併催事業としては、第9回飛騨の家具®絵画コンクール～あったらいいな、こんなイス～作品展示、飛騨の家具®勉強会、2024匠・DNA展、飛騨の工房家具新作展、飛騨高山つくり手の会2024など数多くの催しも行われます。
どうぞ皆様ごゆっくりご覧いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

2024飛騨の家具®フェスティバル実行委員長
協同組合 飛騨木工連合会
代表理事　白川勝規

［飛騨デザイン憲章］第3条 心の豊かさ　飛騨デザインは、世界の人々のこころの豊さと、精神のやすらぎを与えるものをつくります。

家族と一緒にご飯を食べたり、ゆっくりリビングで休日を過ごしたり、私たちの暮らしに家具は欠かせません。家族と共に今日を語り、明日を夢見る。私たちのつくる家具が、豊かな心を育む時間とともにありたいと願っています。



STAMP RALLY

スタンプラリーで、巡る家具フェス！

飛騨木工連合会が協賛するステキな商品目指して、
スタンプを集めて応募してください！
この他にもたくさんの景品があります！



1　2　3

4　5





※ メイン会場（飛騨・世界生活文化センター）では、スタンプを3個ゲット！　※ スタンプの台紙（当パンフレット）は、各会場にも設置してあります。
※ 写真は一例になります。

応募方法

1 各会場にて、スタンプを押す。
2 5つのスタンプを集めたら、必要事項を書き込んで、会場にある応募箱へイン！
3 何が当たるかは、ドキドキのお楽しみ！

お名前	様
ご住所	〒
電話番号	（　　）　　－

※当選は、発送をもって代えさせていただきます。 ※ 個人情報は景品の発送のみに使用いたします。

※ 協同組合飛騨木工連合会では、飛騨の家具ブランドを守り、さらにはブランド価値を向上させるように、平成20年1月「飛騨の家具」「飛騨・高山の家具」の地域団体商標登録を取得しました。 ※ この事業は岐阜県及び高山市・飛騨市からの助成を受けています。 ※ 内容は変更になる場合あり。最新情報は公式ホームページ参照。

MAIN EVENT SITE info.

メイン会場では期間中、各メーカーの展示に加えて、今年ならではの展示やトークイベントが続々と開催中。
飛騨の家具の現在形を体感して下さい。

☑ 飛騨つくり手市

今年も開催！
飛騨のものづくり息づく市へ。

地元で活動する優れたクラフトの作り手を紹介する「飛騨つくり手市」が今年も！テーマブース内にて、14組の出店＋4店の商品が取り扱われる。平日も開催となった今年は、昨年「飛騨高山商店」として高山で活動していた〈名古屋工業大学〉助教・大沼真奈美さんも店頭に立ち、そのものづくりの素晴らしさを伝えてくれる。

大鹿野工房（木工）・osio craft（木工）・HOPE（木工）・木村工芸舎（木工）・かわむら道具（木工）・Tonerico works（木工）・奥井木工舎（雪入道）・木と暮らしの制作所（染色など）・丸山良平（彫刻）・しずく窯（陶芸）・RiRiN（陶芸）・朝日工芸（木工真鍮）・お山からこんにちわ（樹皮細工）・薬薫（わら細工）
中谷製粉製麺所（麺）・稲豊園（和菓子）・三嶋豆（豆菓子）・株式会社奥田又右衛門賣本舗（nagomi sheet）



初出店となる〈かわむら道具〉。

木や鉄、川石を素材として制作する〈丸山良平〉。

☑ MAIN VISUAL

〈HAND design office〉
グラフィック・デザイナー　稲越昭太郎

「豊かさ」を巡る、疾走する抽象性とそのアナログ感。

豊かな自然の中に家々がある飛騨。その中で家具が生まれ、その家具を家に招き入れて日々を豊かに暮らす、浮かんだそんなイメージをグラフィックの手法を用いて視覚化。「細かな点の集合体がリソグラフを思わせるローファイな味わいも楽しんでいただければうれしいです。



☑ THEMA BOOTH

「心の豊かさ」を表現する樽葺きのテーマブースが出現！

「心の豊かさ」というテーマから見出されたのは、樽葺き（くれぶき）というキーワード。遠くから見れば一枚の板に、近くで見れば割れた木肌がそれぞれに違って見える樽。その「微差」を表現に落とし込んだ今年のテーマブースは、〈プフ設計〉石原 愛美氏と〈ソヂ〉大竹絢子氏の2人の設計士によるもの。遠くから、近くから、今年ならではのこの空間を味わって。



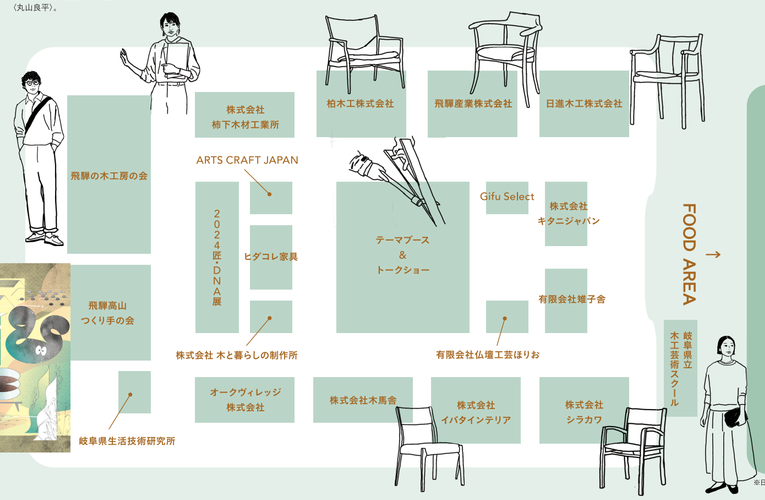


大竹絢子
一級建築士、ソヂ（2021–）
京都橋大学非常勤講師（2023–）



石原愛美
一級建築士、プフ設計（2023–）
日本福祉大学非常勤講師（2023–）
東京藝術大学教育研究助手（2024–）

樽葺き屋根を用いて、テーマを体現するテーマブース。思わず足を踏み入れたくなる空間へと誘意製作中！ カウンターに使われた各メーカーの脚にも注目！



- トミィミューズリー（10/19～23）
- TABIBITO（10/19～23）
- 老田屋（10/19・20）
- カフェーリエ（10/20・21）
- たかやま百菓店（10/20・21）
- tokidokicoffee（10/20・21）
- avantage（10/20）
- にじいろバーガー（10/19）
- 福八神（10/20）
- クレープ物語（10/21～23）
- San-Dream（10/21～23）
- NOCE（10/21・22）

※日にちが変更になる場合がございます。

TALK EVENT SCHEDULE

［会場］トークイベントブース

今年から平日開催が加わり、さらにコンテンツの充実を見せるテーマブース企画！ ワークショップはもちろん、12本が開催される気鋭のトークイベントは見逃せないものばかり。スケジュールをチェックして、気になる企画に足を運んで下さい。

10月19日（土）

オープニングトーク 9:30–10:30
高山市長を迎え、〈飛騨の家具®フェスティバル〉企画委員長・岡田明子氏から今年の見どころを紹介。「飛騨の家具®と心の豊かさ」をテーマに高山市の取り組みやミクロとマクロの視点で見るこれからの木工産業の展望を語る。
［登壇者］ ■ 田中 明 高山市長
■ 白川勝規〈協同組合 飛騨木工連合会〉代表理事
■ 中村匠郎 高山市議会議員
■ 岡田明子〈飛騨の家具®フェスティバル〉企画委員長

飛騨の匠と関鍛冶の技を継ぐ ～ 高山陣屋のくれへぎ技術の継承 ～ 11:00–12:00
高山陣屋の屋根板を作る「くれへぎ技術」は飛騨の匠の技の象徴。その道具は、関鍛冶の技術を受け継いだ職人により特注製作されている。伝統技術を引き継ぐ努力と現代の家具産業とのつながりを紐解き、さらにつながる未来について語り合う。
［登壇者］ ■ 川上舟晴〈合同会社こうこう舎〉代表　宮大工 ／ 日本伝統建築技術保存会認定技術者
■ 佐野元治 打刃物元治 ／ 野鍛冶
■ 岡田明子〈飛騨産業株式会社〉代表取締役社長　〈飛騨の家具®フェスティバル〉企画委員長
［ファシリテーター］ ■ 久津輪 雅〈一般社団法人 技の環〉代表理事　［共催］岐阜県、〈一般社団法人 技の環〉

家具産業におけるSDGs ～ 海外の品質表示システムの経緯とともに ～ 15:00–16:00
家具の先進地スウェーデンの「品質」「環境」「社会的責任」を包括的に表示した家具認証システムをSDGsと関連付けて時系列に紹介する。
■ 高田秀樹〈岐阜県生活技術研究所〉元所長

10月21日（月）

椅子のつくり方 椅子のえらび方 15:30–16:30
飛騨のデザイナーや作り手はどのように「かけ心地」の良い椅子を生み出しているのか？デザインプロセスを通して、会場内にある椅子を人間工学的視点で解説する体験型講座。
［登壇者］ ■ 河原雅典〈富山大学〉芸術文化学部 教授
■ 舛井 敦〈飛騨産業株式会社〉デザイン室　プロダクトデザイングループ 次長
■ 渡部継太〈remix〉代表 ／〈飛騨の木工房の会〉会長

10月20日（日）

香港と日本のインテリアデザイン文化と感性の融合 10:00–11:00
26歳でデザインスタジオ〈hintegro（ヒンテグロ）〉を設立したキース・チャン氏。香港のもつ文化的多様性を引き継ぎながら、日本の家具、建材やインテリアアイテムを積極的に取り入れているチャン氏と共に、両国のインテリアデザインについて語り合う。
［登壇者］ ■ キース・チャン〈Hintegro〉代表
［ファシリテーター］ ■ 北村卓也〈日進木工株式会社〉代表取締役社長　［共催］〈ジェトロ岐阜〉

飛騨の森と人とこころの多様性 11:30–12:30
「心の豊かさ」について、持続可能な飛騨の森と人との関係、家具産業とのつながりに触れながら、サイエンスの視点で考えるトーク。人が森に与えている影響を生き物の暮らしから考察したり、森に対する人の意識の変化、自然・地域・暮らしにおける人の交流のあり方についてのトークを交わす。市民とともに飛騨でリサーチする研究者の皆さんが登壇。
［登壇者］ ■ 淺野悟史〈京都大学〉　大学院地球環境学堂 地域資源計画論研究室 准教授
■ 時任美乃理〈京都大学〉　大学院農学研究科 森林科学専攻 助教
■ 法理樹里〈農林水産省 農林水産政策研究所〉主任研究官
■ 井上 彩〈株式会社飛騨の森でクマは踊る〉取締役CMO
［企画運営］〈株式会社飛騨の森でクマは踊る〉

10月22日（火）

人・自然・歴史を次世代につなぐ、飛騨木工連合会の動画撮影の裏側 15:00–15:40
飛騨木工連合会の新たなプロモーション動画がリリース！動画制作を手掛けたカメラマン・髙嶋 浩さんからの取材の裏側や心に響いた言葉などを手掛かりに、地域における飛騨木工連合会の存在や魅力に迫る。
［登壇者］ ■ 髙嶋 浩〈ENISI KIROKU FILM〉
■ 松原千明〈株式会社木と暮らしの制作所〉

伝え手ができること 16:00–16:50
テーマを軸に、飛騨の家具を扱う小売店の方々に登壇いただくクロストークイベント。それぞれの持つ多様な視点や特徴を交えて、小売業や地域に対する想い、飛騨との関わり、お店づくり、発信などについて語り合う。
［登壇者］ ■ 飯田成光〈株式会社府中家具 HOLM230〉 ■ 道下美奈〈株式会社府中家具 HOLM230〉
■ 青沼武志〈株式会社ミツルヤ製作所 ＋ VITA〉
■ 榎本将章〈有限会社榎本家具 リ・バラック インテリア〉
［ファシリテーター］ ■ 新井 南〈オークヴィレッジ株式会社〉

なぜ飛騨・高山に人が集まるのか 飛騨へ移住してきた多様なメンバーと飛騨・高山の魅力を探る 13:00–14:30
年間500万人の観光客が訪れる飛騨・高山。なぜ小さな地方都市にこれほど多くの人々がやってくるのか？ 県外や海外からの移住者が多いのはなぜ？「飛騨の魅力」を深掘り、未来創造のヒントを探す。
［登壇者］ ■ 関 道朗〈柏木工株式会社〉 代表取締役会長
■ ブレイルズフォード・ダリル・コディ〈有限会社船坂酒造店〉製造責任者
■ 林 家瑜〈Cafe Courier〉店主　■ 笠井大介〈株式会社CoLC〉取締役CMO／COO
■ 大西麻貴子〈柏木工株式会社〉コントラクト部 次長
［モデレーター］ ■ 中畑久美子〈岐阜大学〉社会システム経営学環 地域ラボ・高山 特任准教授

ひだ広葉樹活用シンポジウム2024 15:00–17:00
飛騨地域の川上（林業）・川中（製材）・川下（製造）までの事業者が一同に集い、広葉樹の活用について語り合う。それぞれの立場から地域の広葉樹の現状や課題を共有し、広葉樹が持つ多様な可能性を探り、サステイナブルな森・地域・ものづくりのための今後の方向性やアクションを考える。
［登壇者］ ■ 飛騨地域で活躍する林業・製材業・家具製造業に関わる皆さん
■ 長野麻子〈株式会社モリアゲ〉代表　■ 赤堀楠雄 林材ライター
■ 林 千晶〈ロフトワーク〉共同創業者 ／〈株式会社QO〉代表取締役社長 ／〈株式会社飛騨の森でクマは踊る〉取締役会長
■ 徳地直子〈京都大学フィールド科学教育研究センター〉森林生態系部門 森林育成学分野 教授
［企画運営］〈株式会社飛騨の森でクマは踊る〉 ［主催］〈岐阜県山林協会〉飛騨支部
［共催］高山市、飛騨市、白川村、〈飛騨地域持続可能な森林づくり連絡会議〉、〈飛騨の家具®フェスティバル〉実行委員会、〈協同組合 飛騨木工連合会〉

地域材ミーティング第二部 これまでとこれから 17:00–17:50
全国の地域材のこれまでとこれからについて広域での連携の可能性を探るとともに、業界全体での地域産材活用のあり方や持続可能な地域・経済・社会・環境のかたちを参加者とともに考える。
［登壇者］ ■ 鳥羽山 聡〈一般社団法人白樺プロジェクト〉代表理事 ／〈木と暮らしの工房〉代表
■ 中川雅之〈スノーピークプロジェクト〉メンバー ／〈MORRY GO ROUND〉調整役 ／〈ISANA FURNITURE〉代表　■ 繁田浩嗣〈ヨキカグ〉きこりディレクター ／〈株式会社玉川きこり社〉代表
［ファシリテーター］ ■ 及川 幹 広葉樹のまちづくり〈やまかわ製材舎〉代表
［場所］飛騨・世界生活文化センター B1F ミニシアター

推し家具紹介（各ブースにて）
各社新作や代表作、旦那など、推し家具（商品）について、商品に携わる紹介者の目線からつい語ってしまう魅力を紹介する。10/20（日）・22（火）11:00–11:15　11:20–11:35　11:40–11:55

TOUR

より深く知るなら！ 飛騨の家具®のものづくりを体感するツアーへ。

要事前予約！

豊かな森林あってこその飛騨の家具のものづくり。ルーツとも言える場所を巡ることで、その背景を体感できる3本のツアーが企画されています。普段はなかなか足を運ぶことができない場所ばかり。飛騨のものづくりの深部にぜひ触れて下さい。

1 飛騨の森ツアー 10/21（月）13:00–17:00
飛騨の森 ／ 集材所 ／ 製材所 ／ 森の端オフィス ／ イバタインテリア ／ 飛騨・世界生活文化センターほか
［集合場所］飛騨・世界生活文化センター 1F　メイン会場 テーマブース
飛騨の森からどのように家具ができるのか？ 飛騨の森や製材所、家具メーカーの工場を訪れ、森の木が家具になるまでの流れを体感するツアー。プロセスを知ると、家具に対する見え方や愛着が変化するかもしれない。［企画・運営］〈株式会社飛騨の森でクマは踊る〉

2 「飛騨の森 × 木工 × 暮らし」のつながりを巡るツアー 10/22（火）11:30–17:00
cafe & studio ノックノック ／ オークヴィレッジ ／ 柏木工 ／ 岐阜県生活技術研究所
［集合場所］飛騨・世界生活文化センター 1F　メイン会場 テーマブース
古くから木工文化が生き続ける家具の産地、飛騨。広葉樹の森が多いといった立地的な特徴や、地域とつなぐ場、家具をつくる場、家具づくりを支える研究の場など、様々な「場」と「人」が飛騨の家具をつないでいる。そういった場を巡り、飛騨の家具®と産地の魅力を探るツアー。

3 飛騨の森を知る丸太ツアー 10/23（水）10:00–12:00
奥飛騨開発 ／ 木と暮らしの制作所 ／ 飛騨・世界生活文化センターほか
［集合場所］飛騨・世界生活文化センター バスロータリー
地域材利用や地域産業について学ぶバスツアー。飛騨地域材が集まる拠点である〈奥飛騨開発〉の中間土場の見学を中心に、飛騨地域における広葉樹流通における現状・課題を飛騨地域産の木材活用に取り組む流通のプロフェッショナルが分かりやすく解説する。